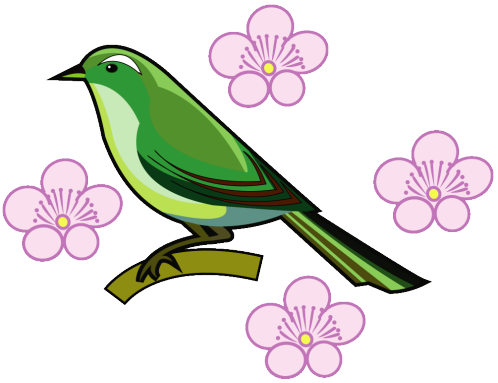
真野小だより

児童数：４６４名
Ｎｏ．１８
令和３年３月１日発行

学校教育目標『進んで学び合い、認め合い、実践できる子どもの育成』

いよいよ弥生・3月、令和2年度の締めくくり



突然の緊急事態宣言発令と臨時休校の通知。突然のこと過ぎてあっけにとられ、アタフタとしながら対応していた昨年の２月末から３月初めから早１年が過ぎました。

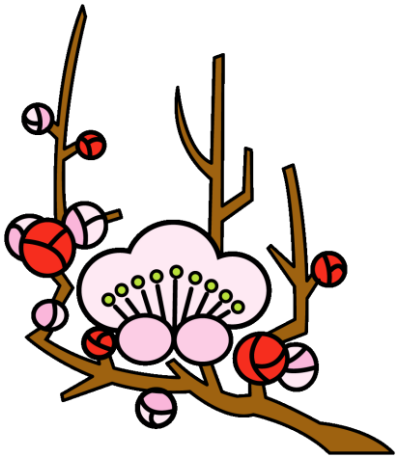
令和２年の年明けから「新型コロナウイルス感染症」「ダイヤモンドプリンセス号」・・・のニュースは何度も見聞きしていましたが、まさか臨時休校措置を執るまでに至るなんて、誰が想像できたでしょう。思い返せば、昨年の卒業生は、３月３日以降の臨時休校の中で、卒業証書授与式の日のみの登校でした。

そして、令和２年度。スタートからまたもや臨時休校。出鼻を挫かれ、一体どうなるのか、真っ暗なトンネルの中に入り込み、出口が全く見えない気持ちになりました。前例のない対応、行事の延期や中止、見直しが相次ぎました。子どもたちにとっても、保護者の皆様にとっても、そして、もちろん我々教職員にとっても見えない相手との戦いの日々でした。教室での学習参観も、ついに一度も実現できませんでした。修学旅行や校外学習も例年とは違う形になりました。日々の学習活動も満足に実行・実践できない日々でした。

それでも、教職員がなんとか工夫をしながら、そして、これまでなかった消毒等の業務を背負いながら、踏ん張ってくれました。子どもたち、保護者、地域の皆様、そして、本校教職員に心から「ありがとうございます」と言いたい気持ちです。

未だ終息したわけではありません。ワクチン接種は始まりましたが、ｗｉｔｈ コロナがまだまだ続きます。そんな令和２年度も早くも最終月となりました。６年生は、１５日後には卒業証書授与式を迎えます。約１，２００日ある小学校生活の最後の登校日です。

６年生は小学校生活のまとめを、５年生以下は今年度のまとめを意識した生活を送ります。子どもたちだけでなく、大人も今年の振り返りを行います。新型コロナの影響で、何もかもが当初の予定通りのことがなく、制限・制約のある中での学習や学校行事でした。それでも、次年度も続けて行うこと、形を変えて行うこと、大胆に止めてしまうこと、これまでの通常に戻せたら戻すことといった目で、今年度１年間を見つめ直しています。



子どもたちの学習や生活の振り返りも同じですが、単に振り返ることを目的とするのではなく、良かったところや悪かったところを明らかにして、それをどう生かすか、どう変えるかまで考えないといけません。良かったところをさらに伸ばすのか、「ここまででよし」で一旦終わりにするのか、良さを生かして他につなげていくのか、というように今後に結びつけて終わらないと振り返りの意味がありません。

どうかご家庭でも様々な事象において、次につなぐことを意識した振り返りとまとめができますよう声かけをしていただければと思います。

学校運営協議会・学校関係者評価委員会

学校運営協議会および学校関係者評価委員会を開催しました。今年度はコロナ対策により、委員の皆さんを最小限に絞らせていただいての開催としました。

学校運営協議会では、いつものとおり、全学年・全学級の授業を参観していただき、最近の児童の様子についての報告、そして、委員の皆さんとの意見交流をさせていただきました。

また、学校関係者評価委員会では、学校評価における「学校関係者評価」を実施していただきました。委員の皆さんによる関係者評価を受け、取組の反省と改善に向けた具体的方策については、後日改めて紹介させていただきます。

真野小学校Webページから

２月２４日
（水）
滋賀県版に掲載
されました。

随時更新しています！真野小学校Webページをご覧下さい！

学校行事や学習活動の様子を随時紹介しています。是非ご覧下さい。

真野小学校　検索　ＵＲＬ：http://www.otsu.ed.jp/mano-e/